

教授会議事要旨

日 時：令和4年11月1日（火）14時55分～15時45分

場 所：本館2階会議室

出席者：中野センター長、青井、石川、福田 各教授・味村、石井、井手口、梅原、大田、郡、嶋、堀田 各准教授・神田、依田 各講師・小林、白鳥、菅谷、土居、友野、RYU 各助教

オンライン出席者：野海、保坂 各教授・田村講師・南助教

陪席者：佐藤助教、森事務長、松本庶務係長、志村研究協力係長、横田会計係長

オンライン陪席者：川畑教授、黒澤講師、鈴木助教、吉田、鎌野 各技術専門職員

欠席者：佐藤、民井、緒方 各教授・岩崎、住濱、永廣 各准教授・外川、樋口 各助教

議 題：

I. 前回教授会議事録（案）について

事前に送付していた令和4年10月4日開催の教授会議事録(案)について、意見等があれば本日までに連絡願うこととした。（同日までに連絡はなく原案のとおり確定した。）

II. 報告事項

1. 各種委員会等について

- (1) 吹田地区事業場安全衛生委員会（10月7日）＜井手口准教授＞
- (2) 核物理研究センター安全衛生委員会（10月18日）＜井手口准教授＞
- (3) 理工情報系戦略会議（10月19日）＜中野センター長＞
- (4) 理工情報系オーナー大学院プログラム運営委員会（10月19日）＜中野センター長＞
- (5) 教育研究評議会（10月19日）＜中野センター長＞
- (6) 部局長会議（10月19日）＜中野センター長＞
- (7) 適塾記念センター運営協議会（10月19日）＜中野センター長＞
- (8) 国際交流委員会（9月27日及び10月25日）＜井手口准教授＞
- (9) 低温センター運営委員会（10月27日）＜福田教授＞

以上、メールにて事前報告済

2. 施設見学の実施について

- (1) 春日丘高等学校（10月28日）＜井手口准教授＞
- (2) Saturday Afternoon Physics (SAP) 2022（10月29日）＜小林助教＞

以上、メールにて事前報告済

3. 令和4年度学内の兼任について

資料1に基づき、本センター教員の他部局への兼任について報告があった。

4. 令和4年度大学院等高度副プログラム（基礎理学計測学）の連携部局について

資料2に基づき、昨年度に引き続き以下プログラム1件について、協力する旨の報告があった。

・理学研究科：基礎理学計測学

また、医学系研究科長から、現在本センターが協力している「高度がん医療人材育成プログラム」については令和5年度以降新規募集を停止するが、受講生が在籍する場合は協力いただきたいとの依頼があり、引き続き協力する旨の報告があった。

III. 協議事項

1. 特任助教（常勤）の公募について

資料3に基づき、科学研究費補助金基盤研究（S）の経費を財源とした特任助教（常勤）1名の公募案について説明があり、審議の結果、承認された。また、本公募案については11月7日開催の運営委員会に附議し、大幅な修正がなく承認された場合は、再度教授会には附議せず公募を開始する旨説明があり、審議の結果、承認された。

2. 令和4年度協同研究員の受入れについて（追加）

以下の協同研究員3名の受入れについて説明があり、審議の結果、承認された。

(1) プロジェクト・責任者：クォーク核物理研究・石川教授、與曾井特任教授

①所属・氏名：RCNP・渡邊 憲

②所属・氏名：京都大学大学院理学研究科附属サイエンス連携探索センター

・富田 夏希

(2) プロジェクト・責任者：J-PARCにおけるハドロン物理・野海教授、菅谷助教

①所属・氏名：京都大学・鈴木 翔太

3. 令和5年度全学共通教育担当教員の選出及び令和5年度全学共通教育科目「学問への扉（マチカネゼミ）」担当教員の選出について

資料4に基づき説明があり、審議の結果、以下のとおり承認された。

・「専門基礎教育（理系物理）」担当教員・・・井手口准教授、石川教授、堀田准教授

・言語・情報教育科目（情報処理）「情報処理教育科目」担当教員・・・井手口准教授

・基盤教養教育科目（総合）担当教員・・・青井教授（代表者）他12名

・アドヴァンスト・セミナー担当教員・・・青井教授（代表者）他12名

・全学共通教育科目「学問への扉（マチカネゼミ）」・・・青井教授（2コマ）及び石井准教授（1コマ）が代表者としてそれぞれ担当。

4. その他

令和3年11月2日開催の教授会において、理学部生の授業科目「放射線計測学基礎Ⅰ」、「放射線計測学基礎Ⅱ」を本センターで担当することが承認されていること、来年度から「放射線計測学基礎Ⅱ」が開講される旨の説明があった後、本科目を石川教授に担当いただきたいとの提案があり、審議の結果、承認された。また、複数名で担当することも可能であるので、希望者がいればその者にも担当いただくことが併せて承認された。

IV. その他

1. 令和4年度の予算執行について

電気料金の高騰により、当初計画どおり加速器を運転すると赤字額が大幅に増加すること、他部局も苦しい状況であるため、他部局からの借入れができない状況である旨の説明があった後、大幅な赤字を出せば本センターの信用が失われることから、赤字額を圧縮する方策として、企業が電気代を負担する場合と最低限のコミッショニング以外は加速器の運転を停止すること、各研究プロジェクトに配分した研究費を全体で10%削減する旨の発言があり、研究費の削減が難しいグループについては、センター長まで申し出るようにとの発言があった。

また、加速器のコミッショニングの状況や現状の問題点及び3月までの加速器運転スケジュールについて報告があった。

次回教授会 令和4年12月6日（火）15時00分～